

平成22年度財団法人茨城県消防協会事業報告

1 理事会及び評議員会の開催

平成22年5月7日（金）水戸市笠原町「茨城県市町村会館」において開催した。
報告、承認及び議決事項等

- (1) 平成21年度普通会計収支補正予算について
- (2) 平成21年度事業報告について
- (3) 平成21年度普通会計収支決算認定について
- (4) 平成22年度事業計画（案）について
- (5) 平成22年度普通会計収支予算（案）について
- (6) 役員の新補充（案）について
- (7) 新公益法人への移行に伴う機関設計（案）について
- (8) 新公益法人への移行に伴う最初の評議員の選任方法（案）について
- (9) 新公益法人への移行に伴う定款等（案）について
- (10) 平成22年度の主な行事日程について

2 常任理事会の開催

(1) 第1回常任理事会

平成22年4月26日（月）水戸市千波町「県総合福祉会館」において開催した。
報告、承認及び議決事項等

- ア 平成21年度事業報告について
- イ 平成21年度収支決算認定について
- ウ 平成22年度事業計画（案）について
- エ 平成22年度普通会計収支予算（案）について
- オ 役員の新補充（案）について
- カ 新公益法人への移行に伴う機関設計（案）について
- キ 新公益法人への移行に伴う最初の評議員の選任方法（案）について
- ク 新公益法人への移行に伴う定款等（案）について
- ケ 平成22年度の主な行事日程について
- コ その他

(2) 第2回常任理事会

平成23年2月23日（水）水戸市三の丸「水戸京成ホテル」において開催した。
主な協議事項等

- ア 平成22年度普通会計収支補正予算（案）について
- イ 新公益法人制度発足に伴う公益認定移行に関する進捗状況について
- ウ 平成23年度の主な行事について
- エ その他

3 決算審査

平成22年4月19日(月)鹿嶋市役所第2庁舎会議室において、財団法人茨城県消防協会寄付行為第12条第2項の規定に基づき、橋本喜美(鹿嶋市消防団長)監事により平成21年度の会務状況及び会計について審査を受けた。

4 主な事業

(1) 啓発普及事業

ア 機関紙「茨城消防」の発行

隔月1回(6,400部)発行し、県内の消防機関等に配布した。

イ 火災予防思想の高揚

消防庁並びに(財)日本消防協会が行う秋・春の全国火災予防運動に呼応して、火災予防運動を展開し、火災予防思想の高揚を図った。

(ア) 秋季全国火災予防運動(11月9日~15日)

新聞掲載により広報を図った。

(イ) 春季全国火災予防運動(3月1日~7日)

防火ポスターを、市町村・消防関係機関等に配布するとともに、新聞掲載により広報を図った。

ウ 新聞紙上による防火防災思想の高揚を図るため、新聞掲載及び茨城放送(ラジオ)により広報を図った。

(2) 消防団活性化事業

ア 支部別消防団長等懇談会の開催

消防団の活性化対策に関する意見交換を行うため、消防団長、消防主管課長の出席を得て、6支部において懇談会を開催した。

主な協議事項

(ア) 傷病者の搬送及び受け入れに関する実施基準について

(イ) 消防団協力事業所表示制度について

(ウ) 平成23年度消防学校教育訓練計画(案)の概要について

(エ) 新公益法人制度に関する県消防協会の体制等について

(オ) 日本消防協会の火災共済制度と消防互助年金等について

(カ) その他

支 部 名	開 催 日	開 催 場 所
県 南 北 部	12月16日(木)	かすみがうら市消防本部「会議室」
県 南 南 部	12月17日(金)	阿見町かすみ公民館「会議室」
鹿 行	1月20日(木)	カシマスポーツセンター
県 央	1月24日(月)	大洗町消防本部「会議室」
県 北	1月28日(金)	ひたちなか市市毛公民館「会議室」
県 西	2月2日(水)	八千代町役場「会議室」

イ 地域交流活動促進事業への助成

消防団の活性化と地域ぐるみの防災体制づくりを促進するため、住民と企業等との交流活動等を行った27消防団に対し、その経費の一部を助成した。

ウ 女性消防団を結成する消防団に対する助成

男女共同参画型社会の形成を推進し、女性の持つ特性を生かしながら消防活動を実施するため、女性消防団を結成した古河市他2消防団に対し、活動服の製作等に要する経費の一部を助成した。

エ 消防団協力事業所に交付する表示証の配布

近年の産業経済環境の変化に伴い、消防団員の就業形態が大きく変化し、サラリーマン団員が増加傾向にあることから、消防庁においては、消防団員を雇用する等消防団に協力的な事業所を認定する「消防団協力事業所表示制度」を策定した。

この制度に基づき各市町村が事業所を認定し、その証として表示証を交付し、協力事業所が地域への社会貢献を果たしていることを社会的に評価することにより協力事業所の信頼性の向上につながり、消防団と事業所等との連携・協力体制が一層強化されることによって、地域における消防・防災体制の充実強化が図れることから、これに基づき協力事業所として認定した9市町村（54事業所）に協会で表示証を購入し配布した。

(3) 教育指導事業

ア 消防団長研修会の開催

平成22年7月1日～2日に、県との共催により北茨城市「五浦観光ホテル」に於いて開催し、平成22年度の茨城県消防防災事業の概要を消防防災課で説明し、続いて阿見町女性消防団員の入野班長が「未来へつながる防火教室」と題して意見発表（第16回全国女性消防団員活性化奈良大会における全国代表発表者）を行い、さらに東北福祉大学講師の後藤先生（全国消防団員確保アドバイザー）による「消防団の活性化と団員確保について」と題して講義を受けた。

イ 理事研修会の実施

平成22年8月18日（水）～21日（土）に、理事等20名参加のもと、韓国ソウル防災センターにおいて「韓国義勇消防隊の組織と南大門火災の概要及び義勇消防隊の活動状況について」をソウル市義勇消防隊の李会長等から説明を受け、また大邱市市民安全テーマパークにおいて、2003年2月18

日に発生した大邱市(テグ市)で発生した地下鉄火災(死者192名、重軽者148名)の概要及びその後の安全対策等について、職員より説明を受けた。

さらに、大邱市で開催された「世界消防安全博覧会」を視察した。

ウ 女性消防団結成促進大会の実施

近年の男女平等参画型社会の形成を受け、女性の特性を活かした独居老身宅の住宅防火診断や、救命講習等で大きな成果を挙げている女性消防団を、概ね

3年程度で全市町村に結成して茨城県の消防団業務の充実強化を図ると共に、併せて毎年減少している消防団員確保対策にも資することを目的に、昨年に引き続き次のとおり女性消防団結成促進大会を実施した。

- ・ 日 時 平成22年11月24日（金）14時～
- ・ 場 所 茨城県庁 9階 「講 堂」
- ・ 参加者 消防団長、消防団副団長等（女性消防団員187名を含む）、消防長等、消防主任等 計約350名

・ 内 容

① 講 演 「裾野市消防団の活動について」

講師：静岡県裾野市消防団本部部長 小泉 秀子様

②意見発表

- ・ 「発足から現在までの活動！そして今後の課題」

発表者：常陸太田市消防団 団員 青砥 真奈美様

- ・ 「団員の優しさ」

発表者：河内町消防団 分団長 吉川 鋭子様

③パネルディスカッション 題名「共に守る！明日のために」

○ コーデネーター 東京都赤羽消防団 小澤浩子副団長

○ パネラー 龍ヶ崎市消防団 信田 東男団長

北茨城市消防団 飛田 和義団長

笠間市消防団 米川 容子班長

那珂市消防団 後藤 京子部長

阿見町消防団 浅野 奉子班長

- ③ 意見交換会 会場をレストランに移して女性消防団員を中心に、橋本知事及び県幹部等と女性消防団活動の効果等について意見交換を実施した。

エ 第61回茨城県消防ポンプ操法競技大会審査員研修会の開催

平成22年7月23日（金）県との共催により県立消防学校において、各消防本部から審査員として推薦された消防職員26名に対し、審査要領等の研修会を開催した。

実践向きの操法「水出し操法」における機械器具の取り扱い及び操作の基本、隊員の安全管理等を含めた実技を重点的に実施すると共に審査の斉一を図った。

オ 支部消防団員教育訓練への助成

支部消防団員の教育訓練を行った1支部及び1消防団に対し、経費の一部を助成した。

カ 茨城県婦人防火クラブ連絡協議会への助成

県内婦人防火クラブの育成を図るため、県婦人防火クラブ連絡協議会に対し、経費の一部を助成した。

- キ 茨城県幼少年婦人防火委員会への助成
茨城県幼少年婦人防火クラブを育成・支援するため、茨城県幼少年婦人防火委員会に経費の一部を助成した。
- ク 支部への助成
県内6支部の活動に要する経費の一部を助成した。
- ケ 消防団員指導員の養成
平成22年6月10日～11日の2日間と、平成22年7月8日～9日の2日間、2回の併せて4日間県立消防学校において、消防団員の教育訓練の指導にあたる者の研修「消防団員指導員養成課程」経費の一部を助成した。
- コ 茨城県消防長会への助成
県消防長会研究部会「消防署長部会、予防部会、警防部会、救急部会」の活動に要する経費の一部を助成した。
- サ 茨城県消防纏会への助成
県消防纏会の活動に要する経費の一部を助成した。
- シ 茨城県婦人防火クラブ指導者研修会の開催
平成23年3月3日（木）茨城県市町村会館において、県、県婦人防火クラブ連絡協議会との共催により、各婦人防火クラブの活動の発表があり、その後意見交換会を実施し、日常の防火及び災害時における防火意識の高揚と資質の向上を図った。
- ス 日本消防協会主催第10回消防団幹部候補中央特別研修への参加
消防団の幹部候補として活躍が期待される若い消防団に対し、男女別に特別研修が実施され、将来の幹部を養成する研修に、阿見町消防団員3名（男性）、笠間市消防団員2名（女性）が参加した。
- セ 日本消防協会主催第37回消防団幹部特別研修への参加
消防団の災害対応能力の向上と活性化を図るため、消防団幹部に対し特別研修を行い消防団の指導者を養成する研修に、常総市消防団の寺田副団長が参加した。
- ソ 住宅用火災警報器設置推進事業消防団員指導員研修
毎年多数発生している住宅火災による死者を減少させるため、平成16年の消防法の改正により、住宅用火災警報器の設置が義務づけられた。
その設置を強力に推進するため、地域における設置推進の指導的立場となる消防団員を育成し、安全な地域社会の実現に資するため各支部において研修会を実施した。（5支部15カ所で開催し、667名が参加した。）

(4) 大会の開催

- ア 消防大会の開催
平成22年10月29日（金）茨城県立消防学校において、県との共催により、消防大会を開催して、優良分団員等の定例表彰を行い、併せて消防発展の

推進を図り「安全で住みよい郷土茨城」の実現を期する決議を行った。

なお、会長表彰は次のとおりである。

- ・優良分団（竿頭綬） 水戸市消防団第18分団外37分団
- ・永年勤続功労章 日立市分団長 山縣一彦氏外56名
- ・功労章 土浦市消防団分団長 桑原祐之氏外262名
- ・優良消防職員表彰 水戸市消防本部消防司令長 軍司良一氏外53名
- ・永年勤続消防職団員妻女表彰 常陸太田市消防団副支団長 赤津善浩氏夫人 赤津幸子様外129名
- ・親子消防団員表彰 笠間市消防団団長 深谷一郎氏外4親子10名
- ・消防団分団後援会表彰 常総市消防団水海道支団菅原地区消防後援会外3後援会

イ 第61回茨城県消防ポンプ操法競技大会地区大会の開催

県との共催により、消防団員の消防ポンプ操法技術の向上と士気の高揚を図るため、県内6地区で開催した。

出場チーム ポンプ車 51チーム・小型ポンプ28チーム
計 79チーム

ウ 第22回全国消防操法大会

標記の大会（本県出場枠は、自動車の部）が愛知県蒲郡市で開催され、前年の選考会で優勝した常総市消防団（選考会は常総市石下消防団として出場）が3大会連続して本県代表として出場し、前回に引き続き準優勝し、歴史と伝統を誇る本県の消防ポンプ操法技術のレベルの高さを全国に示すことができた。

エ 第37回茨城県消防救助技術大会の開催

平成22年6月17日（木）県消防長会との共催により、県立消防学校において、372名の隊員が互いに持っている救助技術を披露し、また訓練の成果を発揮し、消防救助技術の相互交換研鑽の場として開催した。

オ 第25回茨城県幼年・少年・婦人防火大会の開催

平成22年8月10日（火）龍ヶ崎市「龍ヶ崎市文化会館」において、県、県幼少年婦人防火委員会、県婦人防火クラブ連絡協議会、（財）日本防火協会、龍ヶ崎市との共催により開催し、表彰、事例発表、火災予防思想の一層の普及、各クラブの健全な活動の推進及び民間防火組織の結成促進を図った。

(5) 第16回全国女性消防団員活性化奈良大会への参加

平成22年7月29日（木）～30日（金）奈良県奈良市で標記大会が開催され、本県から13消防団61名が参加し、本県阿見町消防団の入野美穂班長が「未来につながる防火教室」と題して事例発表をし、さらに全国の女性消防団の活動事例及び火災予防寸劇等の発表を学習し、併せて全国から参加した約2,500人の仲間と意見交換をし、今後の活動に大いに参考にすることができた。

(6) 福祉厚生事業

ア 消防殉職者慰霊祭の執行

平成22年10月29日（金）茨城県立消防学校校庭の殉職消防団員・職員の慰霊碑前において、県内殉職者78柱の遺族を招待し、慰霊祭を執り行なった。

なお、今回は平成21年9月16日に本部庁舎建設調査活動中の交通事故により殉職した茨城西南広域市町村圏事務組合消防本部職員3名を新たに合祀した。

イ 消防関係者叙勲・褒章受章祝賀会の開催

平成23年2月23日（水）水戸市の「水戸京成ホテル」において、平成22年度消防関係者叙勲・褒章等受章者併せて52名を招待し、祝賀会を開催した。

ウ 退職消防団長への報償

市町村長から具申のあった、退職消防団長13名の報償を行った。

エ 退職消防団員への報償

市町村長から具申のあった在職5年以上15年未満の退職消防団員に対し、茨城県知事との連名により感謝状及び記念品を贈呈した。（699名）

オ 弔慰金・見舞金の贈呈

消防団員・職員の死亡、傷病について、（財）茨城県消防協会弔慰救済金給与規程に定める弔慰金・見舞金を贈呈した。

弔慰救済金	10名	320,000円
傷病見舞金	1名	10,000円
罹災見舞金	1名	100,000円
計	12名	430,000円

(7) (財) 日本消防協会関係事業

ア (財) 日本消防協会長定例表彰

平成23年2月24日（木）日本消防会館において西岡参議院議長等多くの国会議員をお迎えし表彰式が行われた。

本県の受章団体・受章者は次のとおりであった。

- ・特別功労賞 美浦村消防団長（茨城県消防協会長）葉梨 衛氏
- ・表彰旗 八千代町消防団
- ・竿頭綬 古河市消防団、北茨城市消防団、龍ヶ崎市消防団
- ・功績章 日立市消防団分団長 新井一人氏外29名
- ・精績章 水戸市消防団分団長 小室 丈氏外70名
- ・勤続章 常総市消防団副団長 小川好市郎氏142名
- ・優良婦人消防隊 常陸大宮市婦人消防隊
- ・優良婦人消防隊員 石岡市府中ひまわり婦人消防隊隊長 金子 聖子氏

イ 第29回全国消防殉職者慰霊祭への参列

平成22年9月16日(木) (財) 日本消防協会主催により、日本消防会館において執り行なわれ、本県から事務局長をはじめ遺族代表等8名が参列した。

ウ (財) 日本消防協会福祉共済制度等への加入促進

(ア) 消防互助年金

	前年度未加入人員	本年度加入人員	累 計
消 防 団 員	1, 3 5 5	3	1, 3 5 8
消 防 職 員	3 4 7	0	3 4 7
そ の 他	1 3	0	1 3
計	1, 7 1 5	3	1, 7 1 8

(イ) 福祉共済

継続加入団体 56 (45団、10本部、協会事務局)

新規加入団体 1 (1本部)

加入者数 25, 791名

掛金総額 77, 365, 500円

交付共済金 21, 093, 000円 (58件)

(ウ) 火災共済

継続加入団体 土浦市、下妻市、つくば市、高萩市、鉾田市、常総市、大洗町、笠間市、北茨城市、石岡市、ひたちなか市、日立市 (団・本部)、那珂市 (団・本部)、稲敷市

新規加入団体 阿見町、八千代町、常総市は旧水海道市消防団分が追加

加入者数 7, 859名

掛金総額 6, 527, 540円

交付共済金 0円 (0件)

(エ) 婦人消防隊員福祉共済

継続加入団体 2 (牛久市、笠間市)

新規加入 —

加入者数 63名

掛金総額 48, 800円

交付共済金 無

(オ) 防火・防災訓練災害補償等共済

平成22年4月1日現在加入団体 36 (25市9町2村)

エ 日本消防協会役員会議への出席

(ア) 平成22年5月20日(木) 日本消防会館において役員会が開催され、葉梨会長他が出席し、この役員会で葉梨会長が関東甲信地区選出の理事に選任された。(平成21年度事業報告・決算認定等)

(イ) 平成22年9月16日(木) 日本消防会館において理事会が開催さ

れ、葉梨会長が出席した。

(ウ) 平成23年2月18日(金)日本消防会館において理事会及び代議員会が開催され、葉梨会長及び沢木代議員が出席した。(平成23年度事業計画、平成23年度収支予算、平成23年度都道府県消防協会会費について)

オ 関東甲信地区消防協会会議の開催

関東甲信地区の消防協会長等、各都県の協会幹部が一同に会し、「消防団員活性化対策事業の取り組み」や「消防団の現状と課題」等について意見の交換を行う会議が、今年度は本県が当番であったため、平成22年5月13日(木)～14日(金)大洗町の「大洗・鷗松亭」で開催し、本県では葉梨会長、澤畑副会長及び米川不二男副会長と事務局が出席し、他の都県の幹部さん方と意見交換を行った

カ 都道府県消防協会事務局長会議等

(ア) 平成22年11月18日(木)～19日(金)に埼玉県川越市の「川越東部ホテル」において関東甲信地区消防協会事務局長会議が開催され、現在各都道府県消防協会において大きな課題となっている「新公益法人への移行業務の進捗状況と体制について」等について協議研修した。

その際、この課題については、各都県共通であり、その検討の進捗状況を共有する必要があることから、年度内に再度会議を開催されるよう要請され、次のとおり臨時会議を開催された。

- ・日 時 平成23年3月3日(木)～4日(金)
- ・場 所 埼玉県さいたま市「別所沼会館」
- ・議 題 新公益法人制度に伴う公益認定移行への作業を実施し、来年度の理事会・評議員会で定款等の議案を提案を予定している本県の状況を各都県に説明し、質疑応答を行った。

これにより各都県とも、公益認定に向けた作業が大きく進捗するものと思われた。

(イ) 平成23年2月18日(金)日本消防協会に於いて全国消防協会事務局長会議が開催され事務局長他1名が出席した。(平成23年度事業計画及び収支予算等)